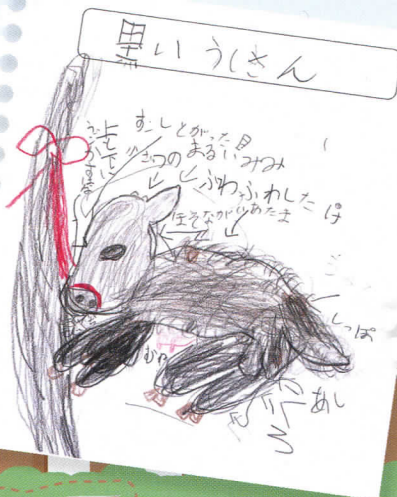
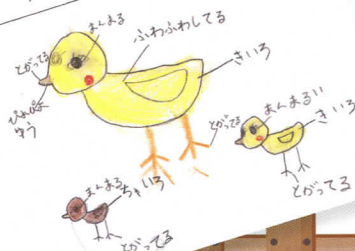
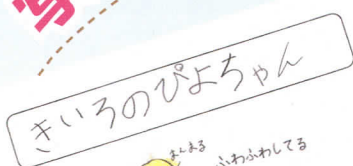


都民と進める

食と農の

体験事業実績集

写真でみる食と農の体験と子どもたちの笑顔



※表紙絵は、新宿区立 東戸山小学校で開催した「移動ミニ牧場」での小学1年生の作品です。

「江戸東京野菜の復活と食育授業」



「品川大長カブ」の取組み

日程：6月～2月

場所：品川区立小中一貫校 伊藤学園

内容：品川大長カブの栽培体験と地域の食文化の学習など



食育アドバイザーによる品川大長カブの講義



校舎屋上の畑では農家の指導で品川大長カブの種まき



品川大長カブの収穫



生徒たちが収穫した立派な品川大長カブは給食で味わった。

しながわおこなが 品川大長カブ

(種) 日本農林社

このカブは寒さに強く、生育旺盛な優良品種です。

葉は長く巾狭く緑濃い。根は長さ25cm 径5cmの円筒形をして、外皮は白色ですが地表部は生育と共に淡い緑色をしてくる。

根は柔らかく、煮物、漬物、生食としても美味しい。収穫は種まき後50日ぐらいから



品川区立小中一貫校 伊藤学園

協力 JA 東京中央

(財)東京都農林水産振興財団 / JAバンク東京信連



「江戸東京野菜の復活と食育授業」



「寺島ナス」の取組み

日 程：12月～
場 所：墨田区立 第一寺島小学校
内 容：寺島ナスの栽培体験と地域の食文化の学習など



5月の小学校での定植まで、寺島ナスの育苗をナス栽培篤農家へ委託



江戸東京野菜とこれからの食育活動

(財)東京都農林水産振興財団
食育アドバイザー 大竹道茂

伝統野菜の江戸東京野菜は、農家がタネを採り、栽培し、江戸や東京に出荷し、地域の食文化を育てるなど、地域と強く結びついた野菜です。これら江戸東京野菜を、学童が自ら栽培し、収穫した野菜を学校給食で学童達が食べる事で、郷土東京の歴史や食文化を学び、郷土愛や食の大切さを学ぶ機会も作ろうと、栽培を希望する小学校に広がっていきます。また、寺島ナスの復活に続いて、砂村三寸ニンジンの発祥の地、江東区南砂・北砂地域の小学校での復活も予定し、すでに希望する小学校からも要請があります。

今年度は、栽培して食べるにとどまらず、タネを採って次代につなげる事の難しさ、大切さも学ばせたいと考えています。

江戸東京野菜のパネル展示の依頼等もあることから、東京都農林総合研究センターの協力により、所蔵の細密画をパネル化して、小学校等に貸し出すことも予定しています。



はじめに

東京の農業は、大都市東京という巨大マーケットを抱え、新鮮な農畜産物を都民に提供するほか、地産地消により、食料輸送距離いわゆるフードマイレージを少なくし、二酸化炭素排出削減など環境面でも貢献しています。

しかし、近年、食料自給率の低迷や相次ぐ食品の安全性に関わる問題の発生により、都民の食品に対する不安と不信感が高まっています。

さらには、子ども同士のいじめや犯罪の低年齢化など、やさしさと思いやりの欠如した憂うべき社会情勢もみられます。

そこで、財団法人 東京都農林水産振興財団は、消費者や子どもたちの農業に対する理解の促進や食育活動を通じて、健康な心身と豊かな人間性を育むことを目指し、平成20年度から、東京都信用農業協同組合連合会からの寄付を受け、「都民と進める食と農の体験事業」を実施しています。

ここに、1年間の事業実績をまとめました。これからも当財団は、東京に残された貴重な農業・農地を次代につなぐとともに、畜産ふれあい体験や農業体験、食育活動を通じて、命や食の大切さを都民のみなさまへ伝えていきたいと思います。

平成21年3月

財団法人 東京都農林水産振興財団

■事業の内容

「都民と進める食と農の体験事業」は、次の2つの事業で構成されています。事業実施にあたっては、都心から多摩地域、島しょ地域にわたり、地域特性を十分考慮して特徴のある事業を展開しました。

畜産ふれあい体験事業

家畜ふれあい体験や飼養管理体験の実施、バター・アイスクリーム作り体験などを行い、畜産に対する理解促進、消費活動を図ります。



農業体験・食育事業

種まきや収穫体験などの農業体験、料理教室や食育講話などの食育活動を実施し、農業に対する理解促進と健全な食生活習慣を培います。



■平成20年度 都民と進める食と農の体験事業実績

第1四半期			第2四半期		
4月	5月	6月	7月	8月	9月
「春の家畜ふれあいデー」 P3 ・4月26日(土) ・青梅庁舎 ・家畜とのふれあい、料理教室 など			「食」と「いのち」の話 P4 ・7月11日(金) ・小笠原村立 母島小・中学校 ・講演、アイスクリーム作り体験 など		
「青梅青年会議所との連携による子どもたちの食育体験」 P3 ・5月～9月 ・青梅庁舎 ・農作業体験 など			「夏休み親子畜産教室」 P4 ・8月7日(木)・8日(金) ・青梅庁舎 ・牛の心音体験、搾乳体験 など		
「職場体験・研修時の食育体験」 P7 ・随時 ・青梅庁舎 ・子どもたちの職場体験、学生実習の受入れなど			「江戸東京野菜の復活と食育授業(品川大長カブ)」 P8 ・6月～2月 ・品川区立小中一貫校 伊藤学園 ・栽培体験 など		



都民と進める食と農の体験事業

事業コンセプト

「命の大切さ・食の大切さ・食卓の大切さを伝える」

- 1 家畜とのふれあいを通じて“命の大切さを**実感**する”
- 2 農作業体験を通じて“収穫の喜びを**実感**する”
- 3 料理体験や畜産物加工を通じて“食生活の大切さを**実感**する”
- 4 命と食の教育活動を通じて“生き物と食べ物の大切さを**認識**する”

農業・農地



食生活



密接な関係

東京農業は、都民へ安全・安心な食料を供給し、都民の健全な食生活を支えており、都民生活と密着している。

第3四半期

10月

11月

12月

「秋の家畜ふれあいデー」

P5

- ・10月25日(土)
- ・青梅庁舎
- ・畜産物の展示販売、搾乳体験 など

「大島牛乳を使った料理・加工体験と家畜ふれあい体験」

P5

- ・12月7日(日)・8日(月)
- ・伊豆大島
- ・料理教室、家畜とのふれあいなど

「江戸東京野菜の復活と食育授業(寺島ナス)」

P9

- ・12月～3月
- ・墨田区立 第一寺島小学校
- ・栽培体験 など



第4四半期

1月

2月

3月

「がんばる女性の交流会」

P6

- ・1月22日(木)
- ・青梅庁舎
- ・東京の食材を使った料理講習会

「移動ミニ牧場」

P6

- ・1月27日(火)
- ・新宿区立 東戸山小学校
- ・家畜とのふれあい、講演 など



「農畜産物調理教室」

P7

- ・3月24日(火)
- ・青梅庁舎
- ・東京の食材を使った調理教室

